

2016年4月
1093号

百葉

Manyok

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

～櫻の国日本によろこそ～

F A W A前会長・グアム代表 クリスタル古賀さん

クリスタルさんが多忙な中、桜吹雪の舞う絶好の4月4日に一冊の会の事務所を表敬訪問して下さいました。大槻会長が心温まる真心の「おもてなし」をしまししょうの一声から準備が始まりました。

前日に会長宅から食器を運び、通訳担当の三坂さんはクリスタルさんが待つホテルへ。会長と小山さんは予約済みのケーキを受け取ってからホテルへ直行して下さいました。時間通りに会長の運転で4人が事務所に到着。室内に綺麗に並ぶ食器の美しさにクリスタルさんはひとつ一つ、手に取って喜び、特にテーブルの真ん中に飾ってあるグアムの国旗に

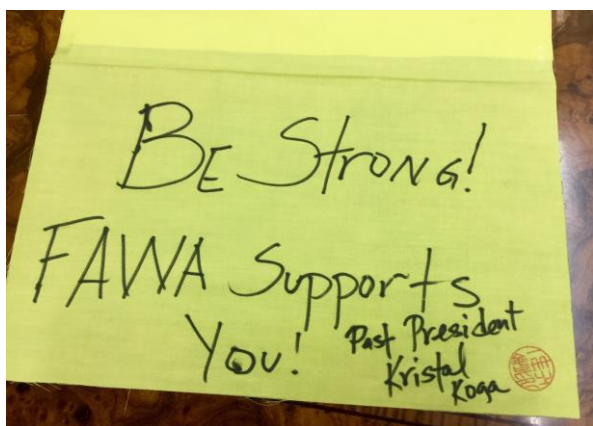


驚きと歓声を上げられ、「ベリーナイス！グッド、グッド！」の連呼。部屋に飾られた大先輩の先生たちのお写真を見て「日本国の大指導者たちが一冊の会に籍を置かれ、活動をなさっていられたのですね。」と驚かれました。また現役の赤松良子筆頭最高顧問や各大使や林弘子宮崎公立大学・学長の在籍にも心からお喜びになりました。会のメンバーの層の厚さに感心なさいました。“百聞は一見に如かず”でよく理解して下さいました様です。被災地・東北女川の蛸の手料理に舌鼓を打ち、遠い東北の皆さんに心を馳せたひとときでした。天皇陛下、皇后様のスケジュールに合わせた行動力、外交戦略の計画性に感心して下さいました。まずはプレゼント（お土産コーナー）！会の皆さんからとして漆塗りでさくらのロゴマーク入りのペン皿と飛行機の中で開けてください。と、お楽しみびっくり玉をプレゼント。すかさず「開けたいわ！」とおっしゃり、びっくり玉をポンと叩く

とその中味に大喜び。そこにはオリンピックのバッチ。申・犬・猫のお菓子が詰まっていたのです。楽しい会話から「国連女性デー」に話題は広がり「1946.4.10。初の婦人参政権行使と日本女性自立への出発(たびだち)」の本をプレゼント。内容の説明に頷かれながら、ほんの少しではありますが日本の女性史を感じていただきました。

最後に掲載されている調査員 692 名、団体 6 グループ、学校参加 45 校、全国調査目標 400 名に何回も何回も指折り数えて一冊の会の底力に驚かれ、感嘆しておられました。そのうえ、国連で決定した「世界津波の日」の 11 月 5 日に合わせて「心の絆大作戦」黄色とピンクのハンカチで被災者と支援する側が、心をつなげて東北復興支援の目標である“最後の一人まで幸福に”をモットーに使命を持続中です。との説明にクリスタルさんもその場で早速サインを下さいました。帰国後に必ず 2016 年度 FAWA 大会の会長である、シンガポールのサラ・メイ・ウーさんに報告して各国からの参加者にもこの行動に賛同するよう勧めます。とお約束して下さいました。汎太平洋女性連盟副会長の大槻会長は、太平洋を中心に世界の友と手を結び女性の地位向上を目指す目的を達成し、ホッと安心というところですよ。新しく世界の女性の華の懸け橋が友好の絆で強く結ばる事になります。

※後日、早速サラ・メイ・ウー会長から御返事を頂きました。シンガポールの国際会議に参加したメンバーにお声掛けをして、会として「心の絆大作戦」に参加します。とのこと。海外からの応援メッセージは「グリーン色のハンカチ」に決定しました。



私は常日ごろ櫻華塾のモットーは、【認識したら直ぐ実行、聞いた話に納得したら素早く実践】です。「心の絆大作戦」の主体者に一人ひとりが成長して参りたいものです。

最後まで東北に寄り添って一。

編集・文責：大槻、小山、北川